

競技に関する注意事項

1 競技会全般に関して

1. 本大会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則および、本大会申し合わせ事項により実施する。また、競技者は日本陸連「競技会における広告及び展示物に関する規定」を適用し、違反する場合は注意を行う。本大会のスタート動作における競技規則は、国内ルールを適用する。
2. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませておく(受付がない場合、競技者は競技に出場できない)。
3. 招集所、招集時間について
 - (1) 招集所は、スタンド下 1F 中央付近に設ける。
 - (2) 招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。出場種目が重複し、競技中に招集時間が設定されている場合は、最初の招集の際に申し出る。
 - (3) 招集が完了した後、スタート 10 分前にはスタート地点及び競技場所に集合すること。
4. 事故・怪我の発生について
主催者は、競技会中やウォーミングアップ中などに発生した事故・怪我について、応急手当は行うがその責任を一切負わない。
5. ウォーミングアップについて

(1) 本競技場

- ①本競技場内でのウォーミングアップは競技および運営に支障のない範囲で行って良いが、逆走は禁止する。競技中の選手に助力となるような行為やホームストレート、インフィールドでのウォーミングアップは禁止とする。朝のウォーミングアップについては、準備が完了した後、第 1 種目開始 15 分前まで行うことができる。その際、ホームストレート 5～8 レーンはハードルを設置するので、十分注意して練習すること。
- ②ハードル種目については、下記の通りホームストレートにハードルを設置する。

種 目	時 間	備 考
男女ハードル	9 : 30～10 : 00 (男女 1500m 競技中)	5・6 レーンに女子のハードル、7・8 レーンに男子のハードルを設置する。

- (2) 雨天走路でのウォーミングアップは待機エリアとなるので使用しない。
 - (3) 競技場周辺での練習については、公園利用者等に迷惑になるような行動は慎むこと。
6. 施設設備の使用について
各自で出したごみは必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。
 7. 写真及びビデオ撮影について
 - (1) 撮影に使用できる機器はスマートフォンまたはタブレットのみとする。デジタルカメラ、ビデオカメラ、一眼レフカメラ等での撮影は禁止とする。
 - (2) 本人及び保護者の了承がない撮影を禁止とする。
 - (3) 下記のエリアを撮影禁止とする。
 - ・グラウンドレベルでの撮影
 - ・各種目のスタート後方
 - ・走高跳、棒高跳、走幅跳の助走後方と着地前方

- ・走高跳、棒高跳のマットに向かった正面（クリアランス動作中）
- (4) スタートブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など競技の準備を行っているときは撮影禁止とする。
- (5) 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断する場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡をする。

2 競技に関して

1. アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。
- (4) リレーのオーダー用紙は、招集完了 60 分前までに招集所に提出する。用紙は招集所に準備する。

2. 競技について

- (1) トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
- (2) 競技者の変更は、いっさい認めない。
- (3) ハードルの規格は以下のとおりとする。

	高さ	台数	スタート～1 台目	ハードル間	10 台目～フィニッシュ
男子 110mH(0.914m/9.14m)	91.4cm	10 台	13.72m	9.14m	14.02m
女子 100mH(0.762m/8.00m)	76.2cm	10 台	13.00m	8.00m	15.00m

- (4) フィールド競技については以下の通り行う。

- ① 長さを競う種目の試技は 3 回の試技で順位を決定する。
- ② 走幅跳、棒高跳で助走路に使用できるマーカーは、主催者が用意したマーカー 2 個までとする。
- ③ 走幅跳は 2 ピット使用して行う。
- ④ 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m35	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以降3cm
女子走高跳	1m20	1m24	1m29	1m34	1m37	1m40	以降3cm		
男子棒高跳	—	2m00	2m20	2m40	以降10cm				
女子棒高跳	—	1m80	以降10cm						

※男女棒高跳の練習の高さは定めず、選手の希望によって行う。

※天候その他特別な状況が生じた場合に限り、審判長の判断により変更されることがある。

- (5) 記録の掲示は事務所入り口付近で行う。上位者のアナウンス発表も併せて行う。
- (6) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや TR6.3.2 で禁止されたビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持、または使用することができない。
- (7) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって競技者に知らされる。

3. 競技用靴について（競技規則 TR5.2 参照）

スパイクピンの長さは 7mm 以内とする。ただし、走高跳は 12mm 以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は 4 mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。

ランニングシューズで出場する場合、靴底の厚さはすべての種目で20mm以内とする(TR5)。使用するシューズが適正であるかは、各自でWAのシューズリストで確認をしておくこと。

違反の場合は、失格扱いとなる。

各種目の1～3位には賞状を授与する。本部前にて表彰式を行うため、入賞者は成績発表後、速やかに本部へ来ること。

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳の「ポール」は、各自持参したものを使用する。

1. 競技場およびスタンドの開門時刻は、7:30とする。
2. 各団体の控え席や待機場所および保護者観覧エリアにおいては、スタンド以外の競技場内に設置できない。割り振りについては別紙を確認すること。
3. 役員および保護者の駐車場においては、別紙のとおり指定された駐車場を利用すること。
4. プログラム記載の氏名や所属等に訂正があれば、学校受付後、本部に申し出る。
5. 応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部席において処置を行う。
なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
6. 貴重品は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。

西三河陸上競技協會中學部 西三河

陸上競技協會中學部 西三河陸上競技協會中學部

陸上競技協會中學部 西三河陸上競技協會中學部

<https://seisantf.sakura.ne.jp/jh/OutputHtml/nans21v/shtml/TimeTable.html>